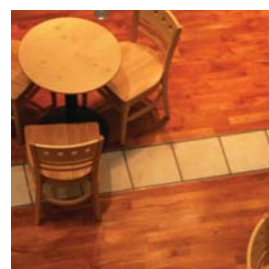


全開ドアシステム スペースメイク・シリーズ

スペースメイク

NEW スペースメイクF

Space make & Space make F



空間活用の新しい「カタチ」

一般的な全開ドアシステムではスライド式自動ドア機能とスイングドア機能を組み合わせて店舗間口を全開放しています。「スペースメイクF」ではスライド式自動ドア機能に折りたたみ戸機能を組み合わせ、戸袋側のスペースを最小限に抑えることが可能になりました。大型荷物の搬出入や多人数の人の出入りなど、あらゆるシーンに合わせた店舗空間を演出できます。

特許出願中



▲ 全閉時



▲ 全開時

※製品の使用イメージです。

通常はスライド式自動ドア(片引き・引分け)として使用し、必要に応じて戸袋部と引き込んだ扉部それぞれを半分に折りたたむことで全開放ができます。折りたたみ式を採用することで扉の軌跡も小円になると同時に全開放時の扉の幅も小さくなり省スペースを実現しています。



▲ 全閉時



▲ 自動ドア開放時(自動操作)



▲ 全開時(手動操作)

Space make **F**

特長 軽快な操作性と充実した安全機能の両立で快適な新しい「カタチ」をご提供いたします。

操作性

軽い力で軽快に
スムーズな開閉ができます

全開放の操作方法是とても簡単で、ハンドル操作によりロックを解除し、室内側から扉を押し引きするだけで全開となります。

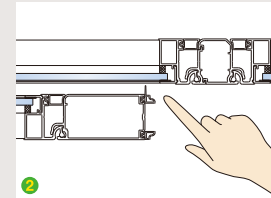
扉を折りたたむ力は非常に小さな力で済みますので、女性ひとりでも楽に操作できます。



安全性

充実した安心機能搭載で
安全性がアップ

- ① 安全性を重視し、指などを挟むおそれのある戸先や障子の丁番部分に緩衝材を採用しました。
- ② 万一指が巻き込まれた場合でも、思わぬケガをしないようにドアフレームとガラスの段差を小さくしました。
- ③ 扉を折りたたみ、全開にした時に誤って自動ドアが作動しないセンサーを搭載しています。



用途 用途やスタイルに合わせた多彩な使い方で新しい「カタチ」をご提供いたします。

ショッピングセンター



セールやイベント時などの人の出入りに合わせて間口のスペースを変更できます。

飲食店



通常は自動ドアとしてデザイン性の高い開放的な使用ができます。

ショールーム



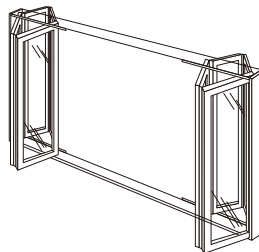
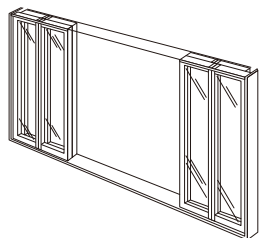
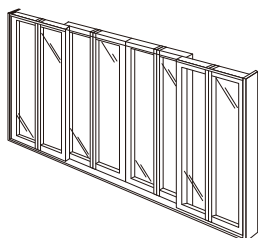
車の出入りや大型荷物の搬出入に合わせた効果的な使用ができます。

開放動作 シーンに応じた使い方と演出で新しい「カタチ」をご提供いたします。

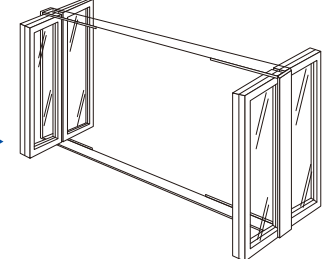
自動操作

手動操作

〈全閉時〉



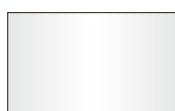
〈全開時〉



カラーバリエーション

※実際の色と異なる場合があります。

■シルバー
(F)



■ブラック
(K)

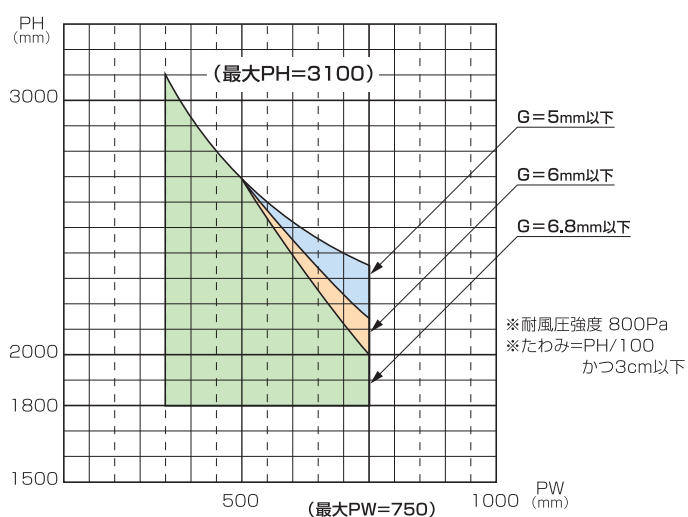


■ステンカラー
(T)



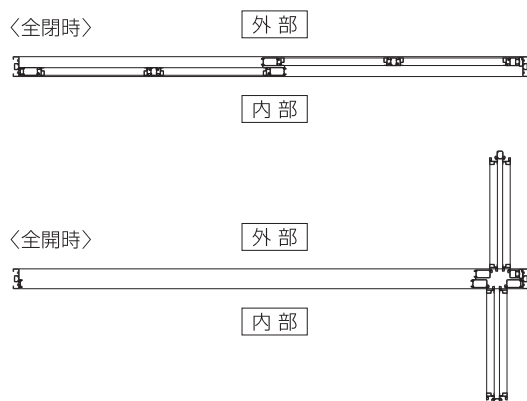
製作範囲

	片引きタイプ	引分けタイプ
枠	$1535 \leq (W) \leq 3135$ ※ランマがある場合はh2寸法により製作範囲が異なります。	$3042 \leq (W) \leq 6000$
パネル	800paの場合 ※パネル1枚あたり 【パネル幅製作寸法】PW = 350mm ~ 750mm 【パネル高さ最大寸法】PH = 1800mm ~ 3100mm ※下グラフ参照	
パネル枚数	戸袋・自動ドア：各2枚	
パネル最大重量	30kg / 1枚	
使用ガラス厚	単板ガラス：5mm~6.8mm ※詳細な製作範囲について当社までお問い合わせください。※複層ガラスの設定はありません。 ※開口部（出入口）の設計にあたっては、安全性の高いガラスの採用をおすすめします。	
自動ドア機種	Smillion SMF-330S (専用エンジン)	Smillion SMF-440W (専用エンジン)

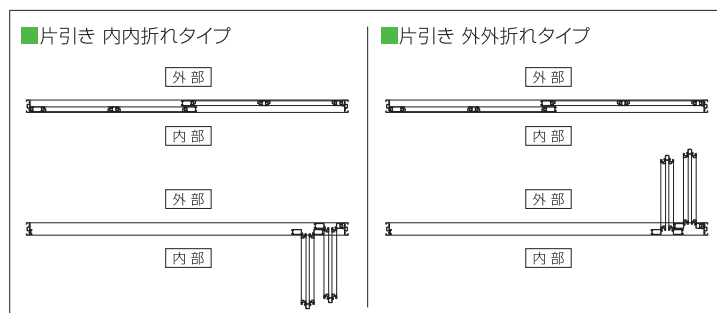


バリエーション図

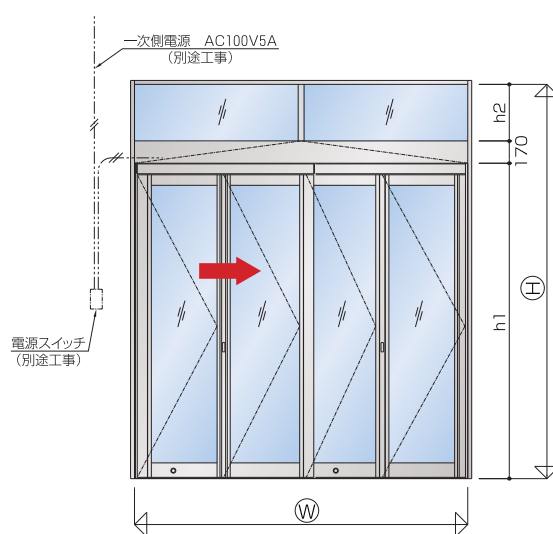
■片引き 内外折れタイプ



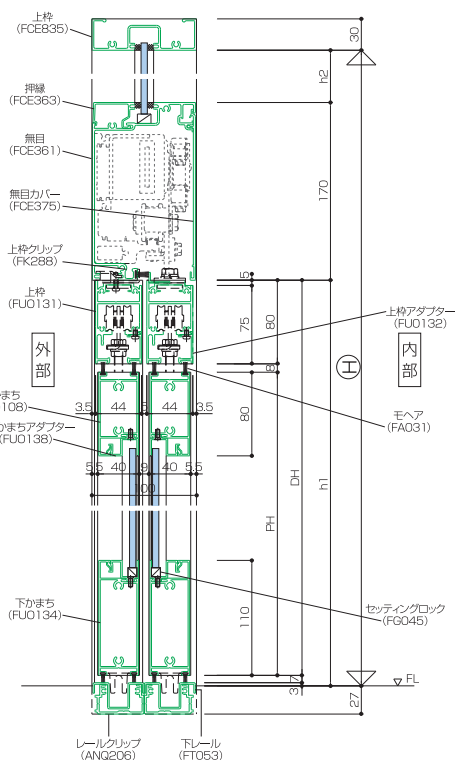
※ご要望に応じて以下のタイプもご用意できます。



姿図

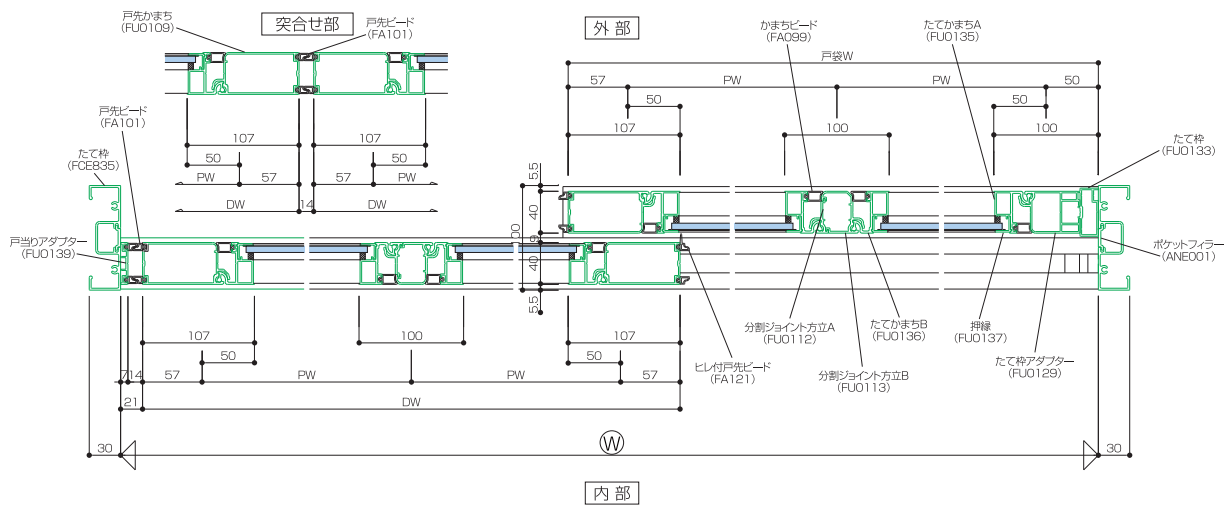


たて断面

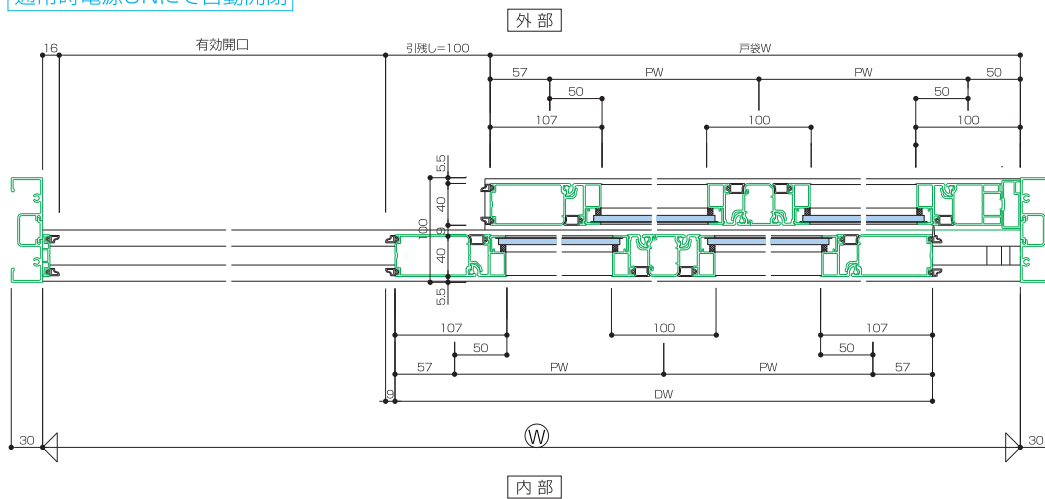


横断面

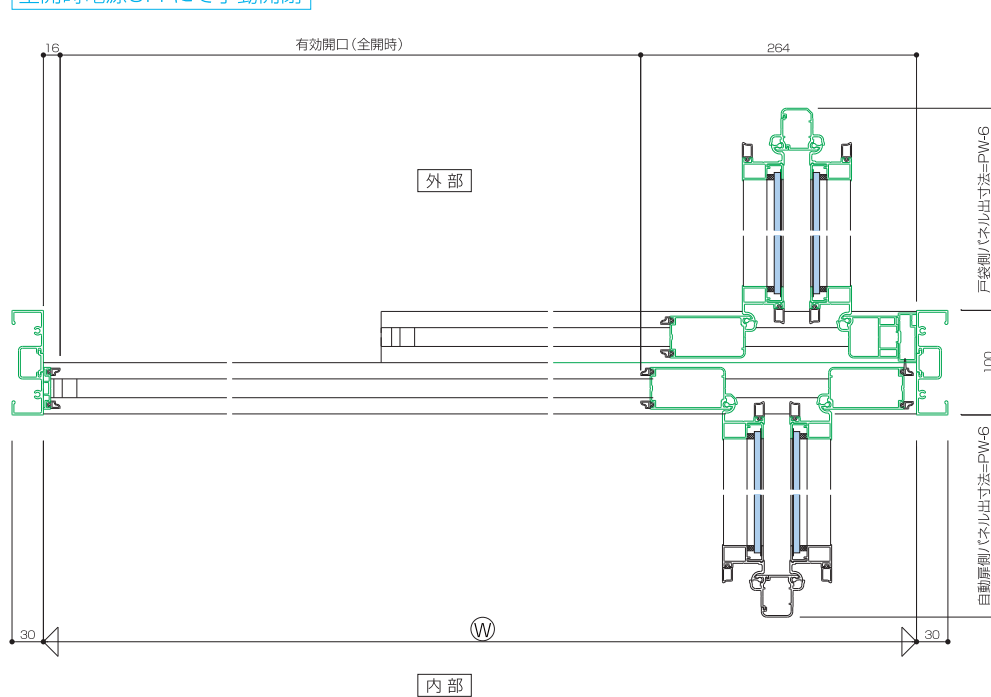
■内外折れタイプ



通常時電源ONにて自動開閉



全開時電源OFFにて手動開閉



自動でスライド、手押しでフルオープン。 多目的ニーズに高性能で応える『スペースメイク』

「スペースメイク」は開閉が軽快なスライド式自動ドア機能と、間口を最大限に活かせるフルオープンのスイングドア機能を持ち合わせています。この2つの機能で、通常の自動ドアではできない大型荷物の搬出入やイベントなどに必要な大開口を確保し、多目的な店舗ニーズにお応えできます。



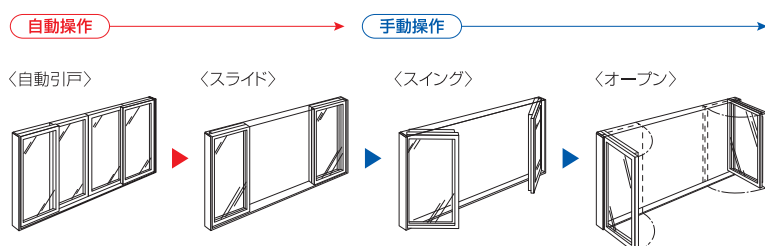
特長

〈スライド&スイング〉

引戸（スライド）とドア（スイング）の2つの機能を持っており、店舗やショールームなどで広いスペースを必要とする時、フルオープンにして商業スペースを有効に利用できます。



開放動作



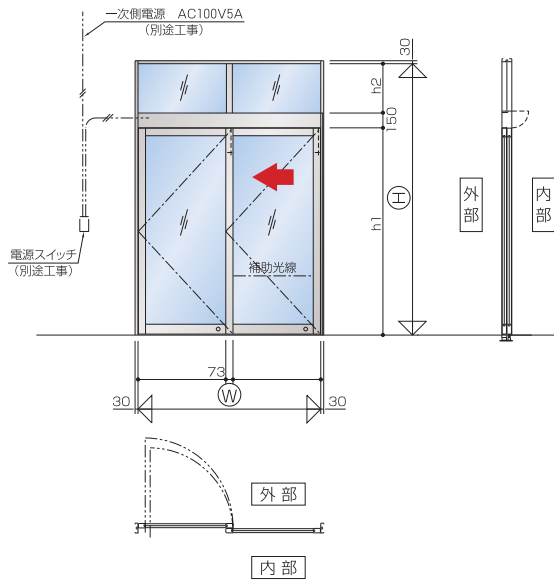
カラーバリエーション

■ シルバー (F)	■ ホワイト (W)	■ ステンカラー (T)
■ ブロンズ (B)	■ ブラック (K)	■ ダークブロンズ (D)

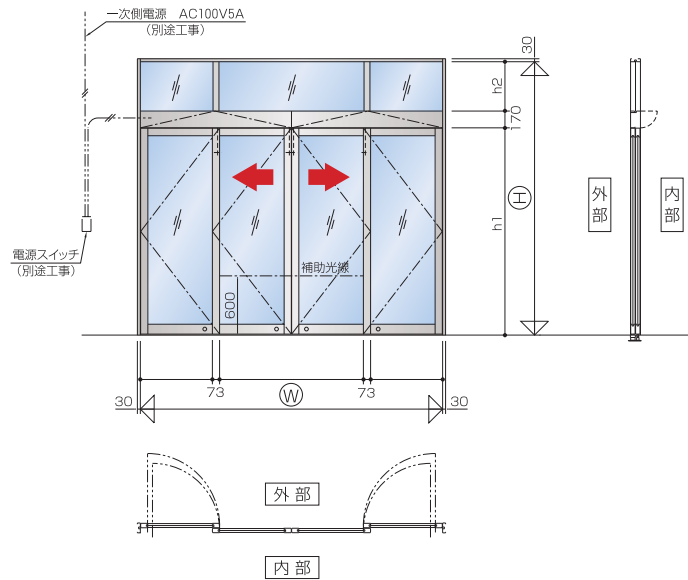
※実際の色と異なる場合があります。

姿 図

■片引き

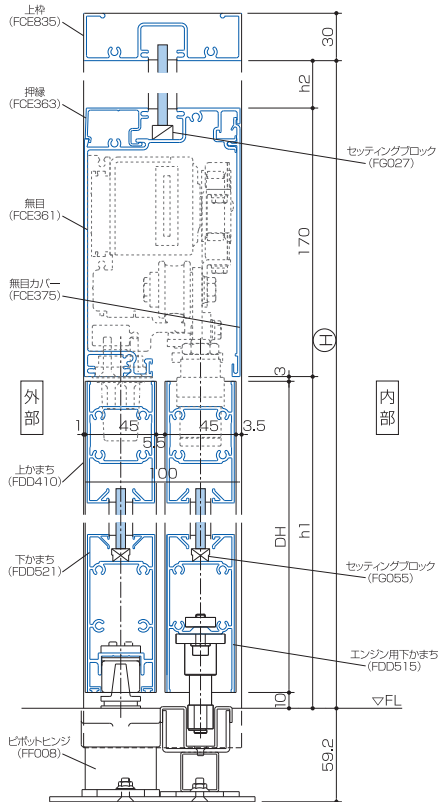


■引分け

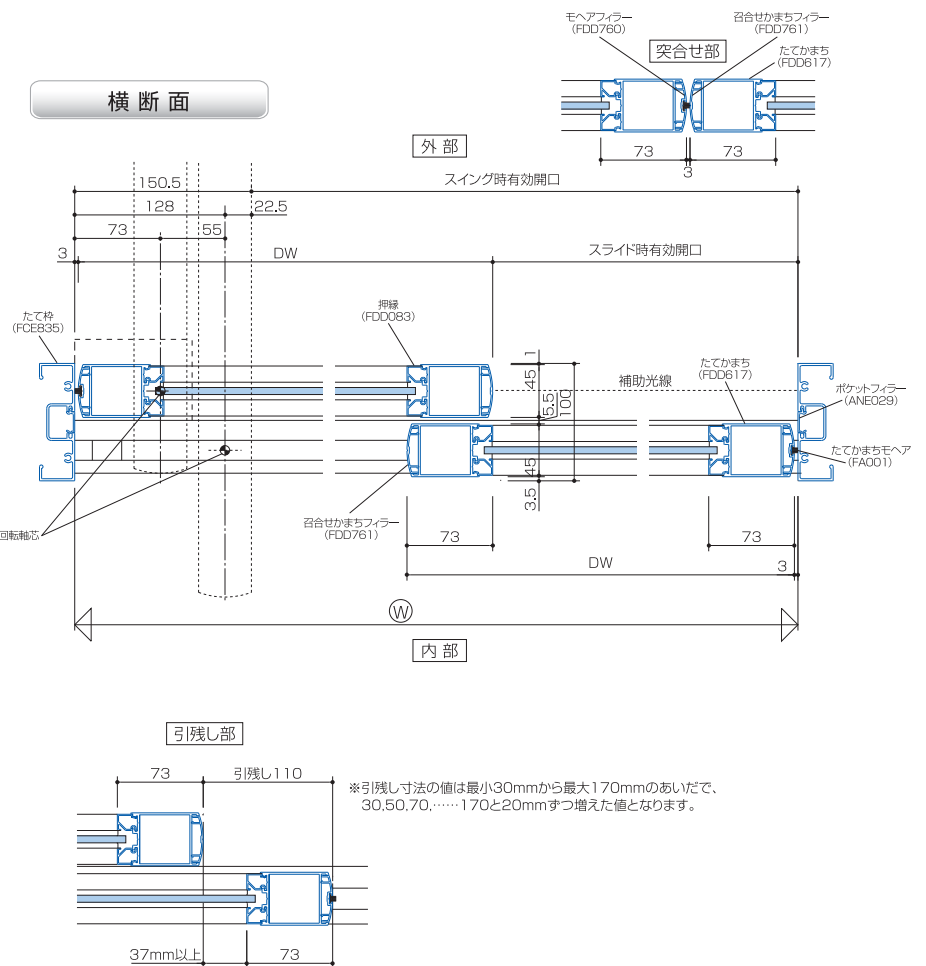


■内蔵タイプ ※外付けタイプもご用意しています。

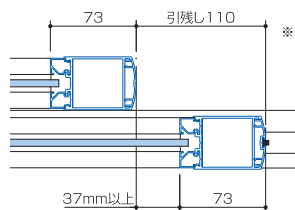
たて断面



横断面



引残し部

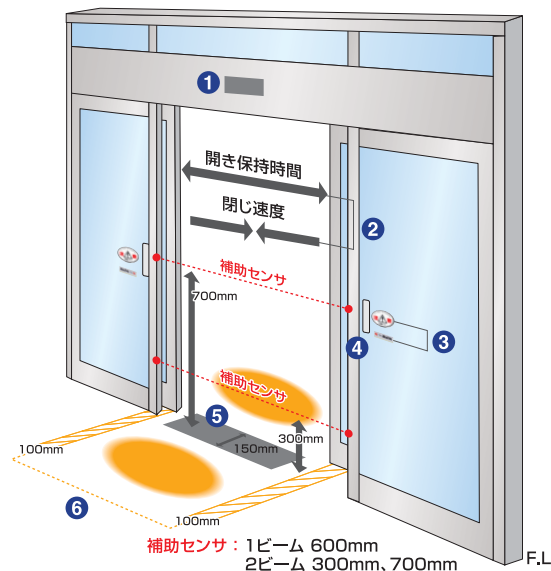


※引残し寸法の値は最小30mmから最大170mmのあいだで、30,50,70,……170と20mmずつ増えた値となります。

			機 種	適用ドア重量 (kg)	最小ドア寸法 (mm)	フロント無目寸法 (mm)		エンジン本体寸法 (mm)		備 考
						見付け寸法	見込み寸法	見付け寸法	見込み寸法	
外 付	片 引	中 量	SMM-300S	100	735	150	70	150	100	強化ガラスドアは 製作不可
		重 量	SMH-600W	100×2	735	150	70	150	100	
	引 分	中 量	SMM-400W	75×2	735	150	70	150	100	
内 蔵	片 引	中 量	SMM-330S	100	735	170	100	125	94	強化ガラスドアは 製作不可
		重 量	SMH-660W	100×2	735	170	100	125	94	
	引 分	中 量	SMM-440W	75×2	735	170	100	125	94	

通行者の安全を高めるために

通行者が安心して通れる自動ドアを選択していただくために、お施主様や建物管理者の皆様へ、自動ドアの設置に関してご理解・ご協力をお願い申し上げます。



※補助センサの取付は機種により異なります。
※補助センサの代替としてドアウェイセンサを使用する場合があります。

1 無目付センサ

2 開き保持時間

通行者が安心して通れるよう、余裕を持った開き保持時間を考慮してください。

閉じ速度

高齢者や身障者などの通行時の安全保持の為、閉じる速度を考慮してください。

3 ラベル・ステッカー



5 存在検出機能

補助センサ・戸先センサ等で不感地帯の安全を考慮してください。

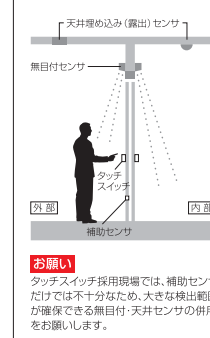
注意

ドアは重量があり動くものですから、自動車が急ブレーキを掛けても急に止まらないように、閉まりかけている自動ドアも急に止まりません。ぶつかると強い衝撃を受けます。お施主様、建物管理者の方は、安全確保について万全を期してください。施工完了後、注意をうながす警告表示ラベル、自動ドアステッカー貼付をご協力をお願いします。

●お願い 電源を切ってから掃除や荷物の出し入れをしてください。
掃除や荷物の出し入れするためには、必ず電源スイッチを切ってから手でドアを開閉してください。

4 タッチスイッチ

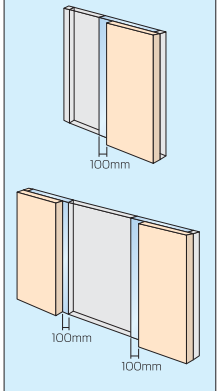
タッチスイッチ選定時の無目付センサ併用のお願い



6 引き残し量

自動ドアは設置現場の環境や、通行者の通行状況に合致した仕様を選択して下さい。

引き残し設定のお願い
ドアと方立及び縦枠での指づめ防止の為、引き残し寸法が必要で



安全確保のためのお願い

- ドアが開き始めるのを確かめましょう。閉まりかけているドアも開き始めているドアも確かめてから通らしましょう。無理な通行は事故のもとになります。
- ドアの間に立ち止まらないようにしましょう。ドアの間に人が立ち止まると上部センサがキャッチしないことがあり、ドアに挟まれるおそれがあります。立ち止まりはやめましょう。
- ドアに斜めから入るのはやめましょう。ドアの斜めや真横から進入すると、ドアの開閉のタイミングが遅れ追突する恐れがあります。ドアの正面から真直ぐに入るようにしましょう。
- 自動ドアの周りで遊ぶのはやめましょう。お子様は、自動ドアの開閉を面白がって遊んだりしますが、ドアや戸袋に体や手を挟まれるおそれがあります。遊ぶのはやめましょう。

ご使用上の注意

- 手動開閉する時は指を挟まないように注意して行ってください。ドアに指を挟まれてケガをするおそれがあります。
- ガイド(下部)レールの上に物を置いたり、立て掛けたりしないでください。物が置いてあると、衝突でドア本体・ガラス等の破損などが発生します。
- 動作中の無理な開閉はやめてください。ドアは動作中、無理な力を加えると自動ドアに障害が発生します。

注意 安全のために施工業者の方は必ずお守りください。

- 商品仕様を確認のうえ、商品を選定してください。
- 商品の製作可能範囲をお守りください。
- 商品の組立・施工については必ず説明書に従ってください。
- 施工完了後に取扱説明書がお施主様に渡るようお手配ください。
- アフターサービス用ステッカーをお施主様にお渡しください。

標準仕様

- 1.主材料 ・アルミ押出材：JIS H 4100 (アルミニウムおよびアルミニウム合金押出材)に規定するA6063S-T5を使用しています。
- 2.補助材 ・ステンレス類：「JIS G 4304 (熱間圧延ステンレス鋼板および鋼帯)」および「JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板および鋼帯)」に規定するステンレス ・スチール類：「JIS G 3131 (熱間圧延鋼板および鋼帯)」及び「JIS G 3141 (冷間圧延鋼板および鋼帯)」に規定する鋼板を用いてJIS H 8610 (電気亜鉛めっき)に規定する所定のめっき処理を施したものとします。 ・ねじ類：組立および部品取付け等に用いるねじ類は、JIS G 4315 (冷間圧延用ステンレス鋼線)に規定するSUS XM7を使用しています。 ・気密・水密材：軟質塩化ビニル樹脂、合成ゴム (シリコン、EPDM、クロロプレン、ブチル等)を使用しています。 ・グライジングガスケット類：JIS A 5756 に準ずるものを使用します。ガラスシール材は、主にシリコン系を使用しますが、ガラスシールとの打ち継ぎ等がある場合には都度打ち合わせをしてください。 ・その他部品：〈セッティングブロック〉EPDM、EPDM-S、クロロプレン、ポリアセタール樹脂 〈戸車・振れ止め〉ポリアセタール樹脂、ポリアミド、ステンレス 〈小口ふた〉ABS樹脂、AES樹脂
- 3.表面処理
○表面処理の品質 JIS A 4706:2000 (サッシ)、JIS A 4702:2000 (ドアセット)の枠及び戸に用いる材料の表面処理は、JIS H 8602:2010 (アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合皮膜)に規定されています。JIS H 4100:2006 (アルミニウム及びアルミニウム合金の押出材)の表面に平均皮膜厚5μm以上の陽極酸化処理を施した後、塗装を施すことによって陽極酸化皮膜の性能に塗膜の性能を付加しています。
- 4.養生・保護
○昭和フロントは当社独自の養生テープ (塩化ビニルフィルム) 巻きになっています。これは保管および運搬中の損傷、あるいは取付工事時のモルタルによる汚損等を考慮したものです。
○腐食防止対策として次の点に注意してください。
(1) モルタルおよびコンクリートの凝結促進剤や防水工用材料で、塩化物を主成分とするものは、腐食の発生および促進作用がありますので、製品に触れないよう配慮してください。
(2) モルタルやコンクリート抽出液が工事中にアルミ材面に流れないように注意してください。抽出液は、強いアルカリ性でアルミニウムと接触すると、外観不良 (しみ、むら) や腐食の原因となります。また工事中に養生テープがはがれた場合には、必ず再養生してください。

ご使用上の注意

昭和フロントのフロント材が本来の機能を維持し、安全にご使用頂く為に次の事項をお守りください。また、お施主様へは、弊社製品取扱いのお客様よりお伝えください。

製品について

- 製品の機能・安全性を維持する為、専門知識を有する人以外の加工・施工は行わないでください。
- アルミ材の端部で怪我をしたり、衣服を引っ掛けないように気をつけてください。
- 製品に貼付されている注意事項用ラベル、取扱い説明シールははがさないでください。

アルミ材の保管について

- アルミ材を雨水等の水分が付着したまま放置すると、ウォータースポット (水ジミ) が発生する原因となりますので、アルミ材の保管は屋内で湿気が少なく、通気の良い場所を選んでください。

取扱いについて

- 製品を使用する前に必ず「取扱いのしおり」をお読みください。
- 開閉するときはヒト、ペット、モノなどいかなる障害物もないことを十分に確認してから、ゆっくりと操作してください。
- 落下防止の為、強風時には窓、戸を閉め、必ず鍵をかけてください。

メンテナンスについて

- フロント材の表面は長期間大気に暴露または放置されると点状の腐食を起こすことがあります。下記に示す箇所は腐食が起こりやすいので特に注意が必要です。
 - ・工場地帯や海岸から直接風を受ける建物
 - ・同一建物内でも取り付けられた場所の違いにより、雨による自然洗浄がなされない箇所 (なかでも軒天井部分など)
- フロント材を汚れや腐食などから守り、いつまでも美しく保つためには定期的な清掃が必要です。清掃の頻度は汚れの程度や立地条件により異なりますので下表を参考にしてください。

立地条件	臨海工業地帯	海岸工業地帯	市街地	田園地帯
清掃回数	1~2回/年	1回/年	0.5~1回/年	0.5回/年

清掃方法

- 中性洗剤をぬるま湯で薄め、柔らかい布で洗ってください。
- 中性洗剤を使用した後、成分は残らないように水洗いをして、水分をふき取ってください。
- 汚れがついた場合には、早い時期に清掃を実施することをおすすめします。長時間放置しておくと汚れが取りづらくなるばかりか、変色したり、腐食を起こすことがあります。
- ※清掃用具として、ワイヤブラシ、スチール、金ペラ、研磨剤入りクリーナー等を使用しないでください。また、小石や砂、金属片が付着していると、フロント材を傷つけることがあります。

(SF205) 11.01.D.2000



登録No. QAC/JP/0339-B
(アルミ形材・部品の開発、販売)



昭和フロント株式会社

本社 ●〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-7
TEL. (03) 3293-6737
URL. <http://www.sfn.co.jp>

●お問合せは